

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月初旬頃

事業所名 ここつと。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		現在実施している段階。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		現在実施している段階。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		専門職員を中心に適宜研修の機会を設けている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化することで、枠に囚われてしまいしっかりと評価が行えないと判断した為、使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムの立案は職員間で話し合っ決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的にプログラムを見直す機会を設けている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇などは、課題を行う時間を設定したり、目標に応じた課題の提供を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝就業前には朝礼の時間を設け情報の共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業後には、終礼の時間を設け、情報の共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援内容を連絡帳(リトム)へ記載し保管している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3~6ヶ月の期間で定期的にモニタリングを行っている。		

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている		○		
----	---------------------------------	--	---	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		可能な限りふさわしい者が参画できるよう、日程の調整を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて学校と情報の共有を行い、トラブルの無いように努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、該当する利用者がいない状況。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		就学前に利用していた事業所等との連絡は密に行えていない。必要に応じて行って行く事を職員間で共有した。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		開店してから1年未満であり、卒業を迎える利用者がいない状況。移行する場合に向けて情報を整理し、共有する準備を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		他事業所や専門機関との連携に向けて、情報の整理他販準備を進めて行く方針となった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナウイルスの関係で行えていない状況。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナウイルスの関係で行えていない状況。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳(リム)や送迎時の関りで情報の共有を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレント・トレーニングについては十分に行うだけの知識が不足している状況。研鑽は積んでいるが、現状は行えていない。必要に応じて直接的な紹介は行えないが、ペアレント・トレーニングの概要をお伝えするようにしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳(リム)や送迎時の関りで情報の共有を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナウイルス感染拡大に伴い保護者会等は実施できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			イベントの様子や日々の様子はブログやSNSを通じて定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きのキャビネットに保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナウイルス感染拡大に伴い地域住民を招待するようなイベントは行えていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		半年に一度のペースで、イベントを通じ子どもたちと一緒に職員も避難経路の確認や避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット・インシデントレポートを作成し、ファイルにまとめて保管している。	